



### 企画展「大昔の暮らし～地域の歴史をさぐる」がはじまります

4月14日(土)から、企画展「大昔の暮らし」が始まります。皆さんの住んでいる松阪市内の地面の下からは、大昔の人たちが実際に使っていた道具がたくさん見つかっています。今回の展示ではいろいろな道具が展示されますが、そんな道具のひとつ「土器」についてのクイズです。



Q 弥生時代には、使い方に合わせて3種類の土器の形が作られるようになりました。使い方は ①食器 ②なべ ③水や食物の保管用 ですが、なべとして食べものの煮炊きに使われたのは、どれでしょう？



A: 甕 (かめ)



B: 高杯 (たかつき)



C: 壺 (つぼ)

答えはAです。Bの高杯は食器として使われていました。今のようにテーブルがなかったため、食べやすいように背の高い形をしていますね。1700年前頃に書かれた中国の歴史の本『魏志倭人伝』には、日本人びとが「高杯に盛った食べものを、手で食べていた」と書かれています。

今回の展示では、より使いやすいように工夫された古墳時代の甕(写真左)や、赤く彩色された美しいパレス壺(写真右)など、いろいろな縄文・弥生・古墳時代の土器も見ることができます。ぜひお越しください。(担当)



### 【はにわ館は開館10年目に入りました】

たんぽぽや日はいつまでも大空に

なかむら ていじよ  
中村 汀女

タンポポの上にとこまでも大きくひろがる空、いつまでもしずまぬ太陽、春の日永が実感できる季節になりました。

平成24年度がはじまりました。文化財センターでは、はにわ館が開館10年目に入りました。はにわ館は、ご案内のとおり平成15年3月21日に開館いたしました。それにさき立つ平成12年、国指定史跡宝塚1号墳から船上にさまざまな立ち飾りのつく船形埴輪をはじめとして、いろいろな埴輪が良好な状態で発見され造形的にも学術的にも高い評価をうけました(平成18年重要文化財指定)。松阪市は、これら貴重な埴輪を将来にわたって市民をはじめ多くの方々にごらんいただける施設として、はにわ館を開館いたしました。



わたしたちは、はにわ館の開館10年が念願の「船形埴輪国宝指定」にむけて条件整備をすすめる節目の年と位置づけ、種々の取り組みを計画しています。なかでも、秋口に予定している「記念特別展」は、市民のみなさまが普段目にする機会の少ない国宝・重文級の考古遺物の展示も視野に入れた内容とするべく、関係方面と協議をしています。

みなさまにおかれましては、今年度もひきつづき文化財センターをよろしくお願い申し上げます。

中村 汀女<現代女流俳人の草分け 熊本市生れ>  
(所長)

### 文化財センター はにわ館 & ギャラリー4月の催し物予定

月曜日は休館です(ただし4/30は開館)。開館時間は9時～17時です(入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料) ※4月14日(土)は無料です(4/18「県民の日」記念により)

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■企画展「大昔の暮らし～地域の歴史をさぐる～縄文・弥生・古墳時代」

4月14日(土)～6月3日(日)

★ミュージアム・トークを開催します! 4月22日(日)・5月20日(日) 13:30～14:30

当センター職員が企画展の展示をわかりやすく解説します。当日、直接第2展示室へお越しください(申込不要)。

【ギャラリー】 入場無料

第1G ■NTT OB 趣味の作品展 4/6(金)～4/8(日) \*8日は15:00まで

第1・2・3G ■第9回 合同水墨画展 4/10(火)～4/15(日) \*10日は13:00～、15日は16:00まで

第3G ■日本ギター製作第一人者 中出版蔵展&視聴会 4/28(土)～4/29(日) \*28日は正午～、29日は16:00まで

★演奏会を4回開催します(各30分): 4月28日①13:00～②15:00～、4月29日③11:00～④14:00～



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)